事例No.	2496
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	NPO 法人　あったかいよう

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・人材確保・育成 ・関係人口

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

とくしま南を、海が見える「あったかい」まちに

出典

令和4年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域連盟会長賞

徳島県海陽町（かいようちょう）

特定非営利活動法人あったかいよう

とくしま南を、海が見える「あったかい」まちに



美しい海や山など海陽町の魅力をたくさんの人に知ってもらうため、新たなガイドツアーを企画し、ツアーガイドを養成する「ガイドインストラクター事業」を実施。

◆事例の概要

平成 27 年度に実施した、地域住民と行政が連携して地域の課題解決について考える『海陽町みらい会議』を前身とし、平成 28 年度に住民たちが、自分たちのみらいをより良いものにするために自主的に立ち上げた団体である。

①にぎわいづくり、②人材育成、③移住者支援が活動のメインの柱であり、①では各種イベントの開催の他に、自然インストラクターの育成や DMV の PR 等に関わっており、②ではひとり親世代向けに料理教室の開催や、外国人技能実習生などを対象とした日本語教室を開催し、地域住民の重要な交流の場となり、③ではお試し住宅の「いもちの家」を運営し、移住希望者に町でのくらしを体験してもらう取組を行っている。

イベント開催からしごとづくり、町の賑わいを伝えるための人材育成、移住や多世代交流の支援まで、地域を元気にするための取組を行っている。



豊かな自然を次世代に伝えるため、地元の学生と海岸清掃（ビーチクリーン）を実施。

◆評価のポイント

NPO 法人あったかいようは、海陽町が地方創生関連で町民に呼び掛けたみらい会議の開催をきっかけに、平成 28 年に設立されたまちづくり団体である。みらい会議では、町民有志 54 名が参加し、ふくし・にぎわい・しごとなど 6 部会で熱心な話し合いが重ねられ、「その実践拠点が必要」という声から NPO が立ち上がった。「とくしま南を、海が見える「あったかい」まちに」を目指し、海陽町に住む人たちが自分たちのみらいをより良いものにしようと、主に 3 つの柱で活動を進めている。

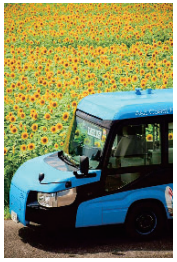
1 つ目は、多世代交流を意識したにぎわいづくり。文化継承や体験のインストラクターを教育旅行やイベントに提供したり、町内の資源をガイドツアーで巡るプログラムを構築するなど、町内各所に活動が及んでいる。2 つ目は人材育成の場。子どもたち向けの学びや遊びの場づくりや、海ゴミリーダー養成講座を開催してビーチクリーンの活動につなげるなど、大人から子どもまで、まちの中で動ける人たちを増やしている。3 つ目は移住者支援。移住相談、町内の空き家調査や片付けサポート、移住お試し住宅の運営など、行政とともに充実した受け入れ体制づくりを進めている。さらに近年では、食品製造・加工企業で働く外国人が増え、町での暮らしに馴染めるように、日本語教室や文化体験、防災講座といった多文化共生の活動にも広がりを見せる。

町内にはボランティア活動の主体も多く、そこに対しても NPO は相互につながって、情報発信やサポート役を担う。加えて、個々のやりたいことを起点として、共感できる仲間と動き出し、それが結果として地域コミュニティの課題解決につながるプロセスが随所に見られている。活動に関わった子どもたちも今では高校生に成長し、年下の子どもたちの世話にまわる人材還流も起きている。NPO では、「楽しいが一番。遊び心で」「誰かのために、自分のために」をモットーに、40 名あまりの会員が自発的に、自分のできることを実践し、まちの人脈や知恵、知識が共有されるプラットフォームとして、「孤立しにくい」環境をみんなで作ろうとしている。

過疎地域においても、子どもたち、移住者、外国人など地域の多彩な人たちが関われる社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の場づくりが求められ、そのしなやかな実践として各地に共有できる好例と言えよう。



移住相談、空き家案内だけでなく、お試し移住施設「いもちの家」を運営。漆喰塗や写真展などを企画し、地域交流の場としても利用している。



世界初の DMV が走る町海陽町として、地域の皆さんと沿線で取り組んだ「宍喰駅フラワーパーク」事業。DMV 始発駅となる「阿波海南文化村」でのワークショップやイベントも開催。



移住してきた外国の方を対象にした、簡単な「日本語教室」を企画し、日本文化に触れながら、地域の人と楽しく交流できる機会を提供している。

DATA

徳島県 海陽町（かいようちょう）

団体名▶ NPO 法人　あったかいよう
所在地▶〒 775-0302 徳島県海部郡海陽町奥浦字堤ノ外 32
連絡先▶TEL：0884-70-1413　FAX：0884-70-1413
E-mail：support@attakaiyo.org
URL：http://attakaiyo.org/

【交通のご案内】
自動車▶徳島自動車道　徳島 IC から国道 55 号で約 2 時間
鉄　道▶JR 四国牟岐線　各駅停車で阿波海南駅約 2 時間 30 分
（乗り継ぎ時間により、時間は前後します）
飛行機▶徳島阿波おどり空港から国道 11 号と国道 55 号を経由し車で約 2 時間



●国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和 35 年	昭和 55 年	平成 12 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
海陽町	19,485	14,397	12,104	10,446	9,283	8,358

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	R2/S35	R2/S55	R2/H12	R2/H22	R2/H27
海陽町	-57.1	-41.9	-30.9	-20.0	-10.0

●高齢者・若年者比率（R2 年）　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
海陽町	46.6	6.4